こんにちは！由利本荘市議会です

地域の互助で乗り[逢い]交通／由利地域西沢地区（４月３日）

3月定例会

新年度予算と主な事業 ▶P２
３月定例会のトピックス ▶P４
市長に問う！会派代表質問 ▶P８
ここが聞きたい　一般質問 ▶P11
お知らせします　議会の動き ▶P15
愛ＬＯＶＥゆりほんじょう ▶P16

地元企業が車を提供

由利本荘市議会だより
令和6年／2024年5月1日　第76号

令和6年度 一般会計予算総額

486億600万円

令和5年度予算より8億4600万円（1.8％）増加

【特別会計当初予算 100億1093万円3千円　企業会計 126億1806万9千円】

1月臨時会　3月定例会

令和６年1月２６日に臨時会が開催され、一般会計補正予算1件が、原案のとおり可決されました。令和６年３月定例会は、２月１６日から３月１９日までの３３日間の会期で開催され、施政方針、教育方針が示されました。

市提出案件は、人事案件５件、条例関係３２件、予算関係２件（特別会計への繰り入れ）、令和５年度補正予算１６件、令和６年度予算１４件、令和６年度補正予算１件、その他7件の計７７件が審議され、原案のとおり可決されました。

また、陳情５件については常任委員会での討議、本会議での討論を経て、３件は不採択、１件は趣旨採択、１件は継続審査と決しました。

さらに議員発案1件の追加提出議案も可決されました。

… 未来のさらなる飛躍を実現する重点施策 …

1．若者・女性の地域定着と切れ目のない子育て支援　73億8300万円

主な事業

◆**福祉医療費支給事業　6億5270万円**

０歳から高校生世代及び重度心身障がい者並びに高齢身体障がい者の医療費助成

◆**起業・事業承継支援補助事業　300万円**

起業・創業へのチャレンジを支援するため、開業にかかる経費の一部を助成

◆**部活動地域移行推進事業　360万円**

中学校部活動の質的な向上と教員の働き方改革を実現する

2. 大規模プロジェクトなどを活かした関係人口の拡大と地域産業の振興　38億7700万円

主な事業

◆ゆりほんスマイルフェスタ開催事業　550万円

市民まつりを改称し、友好都市などの特産品販売やゆりほんじょうマルシェを開催

◆住みたいまち リ･ブランディング事業　260万円

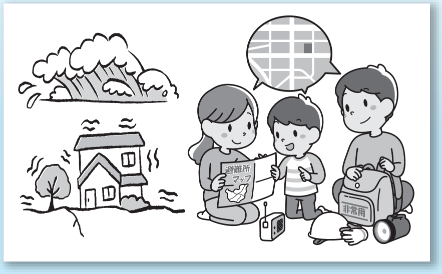
お試し移住体験事業の拡充を図り本市のリ・ブランディング化（魅力の再認識）に繋げる

◆担い手確保･省力化支援事業　790万円

拡大に向ける担い手農家の省力化等に対する支援

3. 誰もが安全安心に暮らせるまちづくり　69億5100万円

主な事業



◆中央地域、東部地域包括支援センター運営業務委託　4810万円

中央地区（本荘東部・本荘西部・石脇・松ヶ崎・西目）、東部地区（子吉・小友・石沢・内越・東由利）の地域包括センター業務を委託

◆ハザードマップ作成事業　110万円

津波、火山噴火ハザードマップ作成事業

◆内水浸水対策事業　3800万円

内水浸水想定区域図の作成

3月定例会のトピックス

文中の記号は次のとおり所管委員会を表しているものです。

㊞総 … 総務常任委員会　㊞教 … 教育民生常任委員会　㊞産 … 産業建設常任委員会

ごてんまりロード整備事業

本荘ごてんまりの魅力発信を目的とし、羽後本荘駅の東西自由通路「ごてんまりロード」の装飾を行います。 産

問　どのような整備内容なのか。

答　階段や壁面にごてんまりのラッピングやタペストリーなどの装飾を施し、ごてんまりのフォトスポットの整備などを計画している。

整備が予定される「ごてんまりロード」

軽度・中度難聴者補聴器購入費助成事業

軽度・中度難聴者（18歳以上）に対し、市独自に補聴器購入費の一部を助成します。 教

問　助成の内容は。

答　身体障害者手帳の対象とならない軽度・中度難聴者（18歳以上）に対して、補聴器の購入費の1／2（補助上限額は非課税世帯5万円、課税世帯2万5千円）を助成する。なお、補聴器の耐用年数を5年とし、再度申請可能とする。

高性能のバイオ炭で土壌改良

環境負荷低減型農業確立に向けた高性能のバイオ炭の有効性の実証支援を行います。 産

問　具体的にどんなものか。

答　地元の工場で作られる籾殻燻炭に微生物を付加するもの。土壌改良の促進が期待される。

三セク・大内町交流センターに補助金

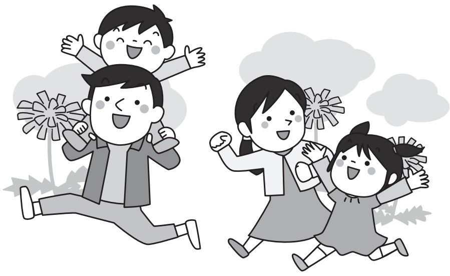
道の駅おおうちの温泉宿泊施設「ぽぽろっこ」を運営する市の第三セクター・株式会社大内町交流センターに、1500万円の運営費を補助するものです。 産

問　補助金交付の主旨は。

答　株式会社大内町交流センターの解散決定に基づき、市は通常清算での清算手続きを支援するため、日々利息が発生する短期借入金の解消を目的として補助金を交付する。

委員会では

委員から「市民感情として、際限なく公費を投入することは理解を得られない。第三セクターの設立の経緯を鑑み、市としては、他の第三セクターを含め、同様の事態とならないよう、経営実態を把握し、早期の対策と指導を行っていただきたい。」との発言があった。



総合計画新創造ビジョン基本構想及び後期基本計画の変更

計画の最終年度を令和７年度に変更します。

(総)

問　具体的な変更点は。

答　計画期間を市長任期に合わせ、1年延長し、令和7年度までに変更するものとする。また、基本構想においては、将来人口目標を令和7年、7万人以上とする。

債権に係る督促手数料の廃止

令和６年４月１日以降発生する督促手数料１００円の徴収が廃止されました。

(総)

問　廃止することで得られる効果は。

答　コンビニ取扱期限の延長による納税者の利便性の向上や金融機関の公金収納窓口の合理化への対応、また、行政事務の負担軽減などが期待される。

亀田体育館の廃止

築４０年が経過し老朽化が進んでおり、財政的な面でも廃止するものです。

(産)

問　利用者への説明は。

答　利用者団体には個別に通知している。ほとんどの利用者団体は、築４０年が経過し老朽化が進んでいること、公共施設等総合管理計画に基づく廃止に理解を示している。

また、３００メートル先には高城体育館があるため、そちらを利用してもらう。

廃止される亀田体育館

令和６年度子育て応援券事業

子育て応援券として１万円分を配送します。

(教)

問　配送対象や配送時期は。

答　対象者は、令和６年４月１日時点で由利本荘市に住所を有する０歳から１８歳（高校生年代）とし、子育て応援券千円券10枚綴りを配布する。6月下旬より順次配送する。

帯状疱疹ワクチン接種費用助成事業

帯状疱疹ワクチン接種費用の一部助成を行います。

(教)

問　事業内容は。

答　満50歳以上で、過去に帯状疱疹ワクチンの接種を受けていない方を対象とする。助成額は、生ワクチン接種の場合は3千円、不活化ワクチン7千円×２回とし、生ワクチンまたは不活化ワクチンのいずれか一方に限り助成する。接種を希望される方は、助成額を引いた額を協力医療機関に支払う。

令和６年度敬老事業の制度改正

敬老会欠席者にも記念品の贈呈ができるようになりました。

(教)

問　昨年度とどのように変わったか。

答　敬老会開催事業（1人あたり2千円の上限）、記念品贈呈事業（1人あたり千円の上限）のほか、敬老会欠席者に記念品を贈呈できるよう制度改正し追加した。また、敬老事業対象者把握のため、令和６年１月から、自治会役員に限り住民基本台帳の無料閲覧を可能としている。

鳥海山火山防災協議会

火山噴火を想定したハザードマップ作成がされます。

(総)

問　協議会負担金はどのような活動に使用されるのか。

答　今後の鳥海山噴火に対応するため、火山噴火ハザードマップ3500枚を矢島・鳥海地域に配布する。

1月臨時会

補　正　予　算

●一般会計　価格高騰緊急支援給付金(拡大給付)

3月定例会

人　事　案　件

異議なし

■人権擁護委員（任期：３年）

熊坂（くまさか）文子（あやこ）氏（再任）本荘地域上大野
高橋（たかはし）利寿（としひさ）氏（再任）由利地域町村
佐々木（ささき）正（ただし）氏（新任）本荘地域川口
秋山（あきやま）由美子（ゆみこ）氏（新任）矢島地域川辺
齊藤（さいとう）祐子（さちこ）氏（新任）大内地域葛岡

条例関係（主なもの）

可決

●由利本荘市諸収入金に係る督促手数料及び延滞金の徴収に関する条例の一部を改正する条例案
●由利本荘市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例案
●由利本荘市手数料条例の一部を改正する条例案
●由利本荘市堆肥センター条例の一部を改正する条例案
●由利本荘市野球場条例及び由利本荘市運動公園条例の一部を改正する条例案

そ　の　他

可決

■土地(鳥海地域普通財産)の処分について
子吉川水系鳥海ダム建設用地として市有地２２７１．６６平方メートルを国土交通省東北地方整備局に売却することに伴い、議会の議決を得ようとするもの。

■財産の無償譲渡について
・岩谷麓構造改善センター
譲渡の相手方：岩谷麓町内会
・特殊農産物研究センター
譲渡の相手方：長坂町内会
・北福田集会施設
譲渡の相手方：北福田町内会

■由利本荘市総合計画新創造ビジョン基本構想及び後期基本計画の変更について

陳　情　結　果

趣旨採択

○陳情第３号
最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を国に求める意見書提出についての陳情
秋田県労働組合総連合　議長　越後屋建一
秋田県春闘共闘懇談会　代表委員　奥井　明子

継続審査

○陳情第２号
年金制度における外国人への脱退一時金の是正を国に求める意見書提出についての陳情
小坪　慎也

不　採　択

○陳情第１号
あきたこまちＲの採用を延期することを秋田県に求める意見書提出についての陳情
小瀧　隆仁

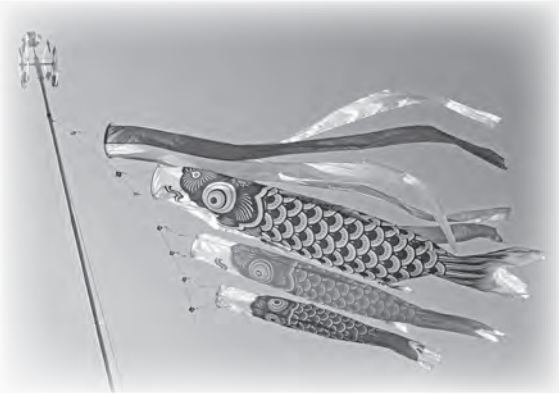
○陳情第４号
公契約基本条例に労働報酬下限額を定めるなど充実発展を由利本荘市に求める陳情
秋田県労働組合総連合　議長　越後屋建一
秋田県春闘共闘懇談会　代表委員　奥井　明子

○陳情第５号
あきたこまちＲへの全面切替え計画を見直すことを秋田県に求める意見書提出についての陳情
「あきたこまちＲ」をみんなで考える会
代表　田口　則芳

議　員　発　案

可決

●議員発案第１号
由利本荘市議会議員の請負等の状況の公表に関する条例の制定について



議案表決結果一覧表

○：賛成　×：反対　欠：欠席

会派・議員名／案件名	高志会													サキホコレ		市民の窓口		共産党	公明党	立民党	無所属	表決数		議決結果
	高橋信雄	髙橋和子	佐藤義之	甫仮貴子	堀井新太郎	三浦秀雄	佐藤健司	小松浩一	泉谷赳馬	吉田朋子	伊藤順男	渡部聖一	長沼久利	三浦晃	正木修一	大友孝徳	松本学	佐々木隆一	佐藤正人	小川幾代	阿部十全	賛成	反対	
陳情第１号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	○	×	×	×	1	19	**不採択**
陳情第３号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	×	○	○	○	19	1	**趣旨採択**
陳情第５号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	○	×	×	×	1	19	**不採択**

※陳情第1号：あきたこまちRの採用を延期することを秋田県に求める意見書提出についての陳情
※陳情第3号：最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を国に求める意見書提出についての陳情（趣旨採択とすべきかの採決）
※陳情第5号：あきたこまちRへの全面切替え計画を見直すことを秋田県に求める意見書提出についての陳情
※長沼久利議長は、採決に加わりません。　※採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。　※共産党：日本共産党　立民党：立憲民主党

「令和５年度高校生と語る会」報告書の提出並びに提言

令和６年３月２９日、市役所において「令和５年度高校生と語る会」の報告書を湊市長に届け、意見が多く出された２つの内容を提言しました。

１つは「交通の利便性の向上」として、路線バス及び由利高原鉄道とＪＲ羽越本線の接続状況の改善やバスの遅延情報の発信を求めるもので、高校生の登下校の現状を反映したものです。２つ目は、「本荘地域や駅前の活性化について」として、商業施設の誘致や駅前の空き店舗の利活用を求める内容となっています。

また、報告書は各校を通して、参加した高校生の皆さんに配布しました。

由利本荘市のココが注目されています！

令和５年度 行政視察受入 一覧

令和５年度は９団体（延べ６５人）が行政視察に来市されました。
視察目的は、以前より関心の高かった学校教育関係に加え、デジタル化関係が注目されています。

視察日	視察団体	人数	視察内容
令和5年　5月18日	沖縄県うるま市議会	5	防災拠点としての由利本荘アリーナについて
令和5年　7月19日	大阪府貝塚市議会	2	「市役所デジタルスポット」証明書の自動発行、遠隔福祉相談について
令和5年　8月　2日	福井県坂井市議会	10	「マイナンバーカード利活用宣言」の取り組み
令和5年　8月25日	香川県高松市議会	13	ジオパークなど地域資源を活用した観光プログラム開発による観光誘客の取り組みについて
令和5年10月18日	三重県熊野市議会	8	ソドアソビの取り組みについて
令和5年10月19日	三重県熊野市議会	8	コミュニティ・スクールの取り組みについて
令和5年12月14日	宮城県利府町議会	6	学力向上の取り組みについて
令和6年　1月31日	山形県金山町議会	11	廃校を利活用した鳥海山木のおもちゃ館における地元産材の活用及び新たな雇用について
令和6年　2月　1日	秋田県大仙市議会	2	学校再編について

会派代表質問

高志会

会長　高橋信雄

質問項目

1. 令和6年度予算について
2. 人口減少対策とまちづくりについて
3. 子育て支援と健康福祉について
4. 産業振興と大型事業への関わり、CO_2削減対策について
5. 観光振興とスポーツ立市について
6. 少子化の中の教育環境について

令和6年度予算は

問　多額の基金繰り入れを見込むなど非常に厳しい財政運営。投資的経費も、当初予算では大幅に減額された。令和6年度予算と課題の行財政改革の進捗は。

答　すべての業務・事務において再検証を行い、「身の丈に合った取り組み」「新たな歳入確保」「受益者負担の見直し」「関係団体との調整」などを視点に予算編成に取り組んだ。

また、行政改革大綱の進捗状況を検証。100項目の取り組みのうち、「目標達成し完了したもの」10％、「概ね計画通り進んでいるもの」などを合わせると68％であり、ほぼ順調に進んでいる。

令和8年度までに廃止・譲渡予定となっている165棟の施設は今年度中に公表する。

人口減少対策とまちづくりの方向性は

問　住み慣れた地域で暮らしていくため「消滅しない地方」として市民の満足度・幸福度を上げるには。

答　人口減少の克服を最重要課題と捉えている。人口減少下にあっても住み慣れた地域での市民の生活が豊かで生き生きとしたものになるよう施策を打ち出してきた。

「地域幸福度『ウェル・ビーイング』」の向上という視点から実現に向けて、あらゆる世代の市民との対話を通し、豊かさを実感できているのかの把握に努め、市民満足度調査を継続し施策の充実を図っていく。

問　デジタル化が整備され、行政サービスの向上につながっていると高く評価する。デジタル化が業務の削減にどの程度寄与しているか。デジタル化の進化と効果は。

答　公共サービスを維持していくためには、令和7年度までの指針となるデジタル化推進計画を作成し取り組んでいる。

ビジネスチャットやオンライン会議の導入で効率化され、業務に要する時間が1人1日当たり30分程度削減でき、人件費として試算すると、年額1億円を超える効果額となる。

少子化の中の教育環境は

問　今後、少子化はさらに進んで複式学級となる可能性がある。

一中学校区1小学校の在り方が維持できるか。

旧町部での学校運営は検討が必要になるのではないか。

全域での検討が必要となるのか。

少子化の中の教育環境と学校編成、適正な規模は。

答　今後もさらに少子化が進み、複式学級が生じる学校も出てくることから、今後は市全域を対象に、旧行政区を超えた学校再編も視野に入れながら、これまで以上に慎重に協議を進める必要がある。

国が示す適正規模は、1学年2学級から3学級程度のクラス替えができる規模である。

～施政方針・新年度予算について市長に問う！～

サキホコレ

会長　三浦晃

質問項目

① 人口減少に対する具体的な案は
② 健全な行財政維持のため当面やるべき事は
③ 令和6年度の事業計画から、ゆりほん保育園遊学等について
4 浮体式洋上風力発電の実証区域に選定される見通しは

人口減少に対する具体的な案は

問 本県の出生数は過去最少の3907人と報道された。未婚・晩婚化の傾向にあり、少子化は政府の想定より12年早いペースで進むとある。市長はさまざまな施策を講じて対処していることは十分に理解をしている。ただ現在、これといった効果が見いだせていないように思う。
　将来を見すえた具体的な案や現在取り組んでいる事業の充実が必要と思うが市長の考えは。

答 人口減少の進行は、地域を支える担い手不足や経済活動における労働力不足、市民生活や産業活動を支える社会インフラの衰退など、さまざまな分野で深刻な問題が引き起こされることが懸念されている。本市の人口は令和5年10月時点で7万1421人で、若干減少のスピードが緩和された状況にある。
　今後、さらに人口減少に歯止めをかけるためには、市外への流出を防止すると共に、本市への移住・定住促進をさらに図るほか、出生者を増やすことが肝要である。そのため、さまざまな角度から後押しを図る。

健全な行財政維持のため当面やるべき事は

問 鳥海ダム建設をはじめとする大型プロジェクトが目白押しで、市の財政の底上げに大きな期待がかかっている。施政方針の中に「財政が健全性を維持し、持続可能性を確保するためには行財政改革の取組みがこれまで以上に強く求められる」とあるが当面やるべき事は何なのか。

答 令和6年度の当初予算は、人件費や扶助費などの義務的経費の増加に加え、物価高騰の影響による経費の増嵩など、歳出総額が膨らみ、前年度を上回る財政調整基金の繰り入れを余儀なくされるなど、非常に厳しい予算編成となった。さらに、中長期的な健全性を図るため、基金の残高確保についても配慮した。
　本市の人口は2050年には4万2千人台まで減少する見通しである。市税収入や交付税の減少など、財政状況はさらに厳しさを増すことが予想される。
　その中で持続可能な社会を維持していくためには行財政改革の取組みは避けて通れない喫緊の課題である。

ゆりほん保育園遊学等について

問 「ゆりほん保育園遊学」や「若者地方交流体験」は実にいい構想だと思う。この2つの構想は現在どのように推移しているのか。また、その実績はどうなのか。

答 いずれもコロナ禍明けの令和4年度より実施している。
「保育園遊学」にはこれまで7家族26人が参加、うち、3家族10人が再度体験に訪れるなど好評を得ている。昨年4月には1家族4人が移住した。
　6年度は新たに石沢保育園を加えるほか、募集時期を2カ月から5カ月に、滞在日数を14日から30日にそれぞれ延ばすと共に定員についても4組から10組に拡大したいと考えている。
　「若者地方交流体験」には令和4年度は企業・創業を目指す若者2人に参加頂いた。新年度も引き続き大学と連携を図りながら進めていく。

会派代表質問

～施政方針・新年度予算について市長に問う！～

市民の窓口

幹事長　松本学

質問項目

1　市長任期最終年度に向けて
②　市総合計画「新創造ビジョン」の共有について
③　令和6年度施政方針について
4　小・中・高一体型校舎について
⑤　教育支援センターの現状と今後について
⑥　学校生活における「居場所づくり、絆づくり」について
7　教育の振興に関する施策の大綱について

「新創造ビジョン」の共有

問　10年後の町の将来像を定めた本計画を「チーム由利本荘」で実現するために市民への周知を。

答　市の現状をつぶさに市民の皆様に知っていただくとともに、あらゆる場を活用して、多様なご意見を伺いながら、市民の皆様と市の未来像を共有して、市政を推進していく。

鳥海山を核とした広域観光振興

問　鳥海山を活かした体験型ツアーに欠かせないガイドの育成、滞在型観光の受け入れ体制は。

答　ジオガイド登録者数43人、鳥海山案内人の会30人とガイド要請に応じられる体制が確保されている。また、従業員数減少により営業縮小しているフォレスタ鳥海は、4月から通常営業を再開する予定である。

むこう三軒両隣・たすけあい事業

問　現代ほど近隣住民同士の隣保共助、見守り、助け合いの「近助の精神」が重要な時代はない。防災活動をきっかけとした地域の絆づくり、地域コミュニティの活性化を図る本事業について、進捗状況と今後の展開は。

答　要支援者は約3500人であり、令和8年度末までに2000件の個別避難計画の作成を目標とする。地域コミュニティの活性化による地域防災力の向上を図り、災害に強いまちづくりを推進していく。

教育支援センターの現状と今後

問　誰一人取り残さないため、支援を要する児童生徒や、不登校児童生徒の増加、学校が抱える課題の多様化に対応する当センターの現状と今後は。

答　不登校児童生徒139人のそのうち「本荘ふれあい教室」に通級するのは19人。通級困難な児童生徒に対しては、指導員が地域や学校を訪問し、学習の機会の拡充、個に応じた学びや成長を多面的に支え、将来の社会的な自立につながる支援体制の充実に努める。

学校生活における「居場所づくり・絆づくり」

問　多様性を認め、寄り添い合う、温かい人間関係に支えられた学校生活を送るための「居場所づくり、絆づくり」とは、具体的な対応は。

答　教職員の研修の充実を図り、スクールカウンセラーなどの関係機関との連携を強化し、多面的に子どもたちを支援し、充実した社会生活を送る力を育む。

ここが聞きたい

一般質問

一般質問とは、議員が行う市政全般についての質問です。すべての質問項目は次のとおりです。（内容を掲載している項目番号には、◯をつけています。）

11P 佐藤正人（公明党）
1. 災害対策について
2. 健康増進について
3. AEDケース内に三角巾及び使い方のリーフレットを
4. GIGAスクール構想の現状について

12P 大友孝徳（市民の窓口）
1. 由利本荘市の震災リスクの周知について
2. 能登半島地震の被災地状況から
3. 風力発電施設による健康被害救済の国への請願について
4. 由利本荘市中学生会議の在り方について
5. 小学校での雪国防災訓練について

12P 小松浩一（高志会）
1. 本市におけるまちづくり構想について
2. 直面する農業問題について
3. 本荘マリーナ海水浴場・本荘港の整備について
4. 本市における敬老事業について
5. 現在及び今後の学校教育の諸課題について

13P 堀井新太郎（高志会）
1. 防災・減災の対策について
2. 新たな時代の文化・スポーツ振興の在り方について
3. 児童・生徒の健康管理について

13P 小川幾代（立憲民主党）
1. 孤立する子育て解消のために
2. 放課後等デイサービスの利用者への金銭的補助を
3. 不妊治療費等に対する助成の1年以上の居住要件の見直しを
4. パートナーシップ、ファミリーシップ制度の創設を

14P 佐々木隆一（日本共産党）
1. 能登半島地震の教訓から
2. 相続登記の義務化は周知の徹底を
3. 特殊詐欺被害防止にさらなる啓発を
4. 自転車違反の反則金について周知の徹底を
5. 県・心身障害者コロニーの移転改築は市内を優先すべき
6. この冬の暖冬少雪の影響は

14P 吉田朋子（高志会）
1. 市の防災対策について
2. トコジラミ対策について
3. 学校・家庭の課題についての対応は

3月定例会では、7人の議員が質問に立ちました。YouTube配信をQRコードよりご覧になれます。

佐藤正人（公明党）

被災者支援は

問 国や県、市の支援には、どのようなものがあり、どこに相談したらよいのか周知を図るべきでは。

答 住宅修理の支援や生活支援金など、支援制度が多岐にわたり設けられている。平時よりホームページや「わが家の防災マニュアル」の改訂時に追加し周知に努める。

AEDケース内に三角巾及び使い方のリーフレットは

問 AEDの使用時に三角巾を使い、上半身を覆うようにしてはどうか。また、三角巾の止血や患部固定のリーフレットは。

答 AEDの使用に男女差が懸念されているという。三角巾は、上半身を覆うだけでなく、応急手当てに役立つことから、三角巾と使用方法を記載したリーフレットを市が設置したAEDに備える。

AEDと三角巾・応急手当のリーフレット

GIGAスクール構想の現状は

問 タブレットの起動や通信速度に不満を抱えていると聞く。改善方法は。また、本格導入される英語の学習者用デジタル教科書の学習効果は。

答 速度低下は市のサーバーが外部ネットワークに接続する際、過度な負荷が掛かることやフィルタリングソフトが要因になっている。改善を協議し検討する。また、デジタル教科書は、再生速度を調整して本文を読み上げたり、動画の視聴により、学びの充実が期待される。一方で紙の教科書の併用も重要と考え、よりよい活用を進めていく。

大友孝徳
（市民の窓口）

由利本荘市の震災リスクの周知を

問 由利本荘市防災計画に記載されている北由利断層地震による被害予測「震度7、死者748人、負傷者3551人、建物全壊1万2014棟」の数値を広報などに掲載し、市民に万が一の準備を呼びかけては。

答 データが一人歩きせぬよう、これまで慎重に取り扱ってきたが、いざという時の迅速な避難行動につながると考え、今後は防災対策の説明のなかで適宜紹介していく。

能登半島地震の被災地状況から避難所のトイレについて

問 内閣府では50人あたり1つの便器があり女性用3対男性用1の割合が理想としているが、本市全域の避難所の数と設定収容人数、男女別トイレの数は。

答 本市の避難所数は82カ所。設定収容人数は3万5660人。男性用トイレは1462基、女性用トイレは964基であり、十分な保有数となっている。

災害時の簡易トイレ

風力発電施設による健康被害救済の国への請願について

問 本市の市民団体が2月6日に上京し、風力発電施設からの低周波および超低周波騒音による健康被害の実態を伝え、環境省に「風力発電施設から発生する騒音に関する指針」の見直しを請願した。
これが認められた際には、本市も方針を転換し、被害者が求める夜間停止などを後押しし、抜本的配慮を要請できるか。

答 国の法令や指針が見直された際には、その内容に基づき適切な対応をする。

小松浩一
（高志会）

本市におけるまちづくり構想

問 市民の声をいかしたまちづくりをどのように進めようと考えているのか。

答 市民の皆様との積極的な意見交換を継続しながら、各地域の幅広い年代の方の声はもとより、市誕生後に生まれた若い世代の方の地域の枠を超えた自由な発想や思いに耳を傾け、重要な施策や計画などの策定に結び付ける事で、真に一体感のあるまちづくりを目指していく。

問 産業団地への取り組み状況は。

答 昨年9月に約500社を対象に行った企業アンケートからは、企業が事業展開をする際の要件を確認することができた。令和6年度は多種多様な企業を呼び込むインフラとしての産業団地の在り方を検討していく。

令和6年度の敬老会事業は

問 世帯数の多い町内会は、該当者を把握するのも困難な状況であるが、どのような対応を考えているのか。

答 敬老事業を行う町内会の役員には、今年1月から対象者の把握目的に限り、無料で住民基本台帳の閲覧ができるようにしている。また、町内会役員など複数での閲覧もできるようにしている。

問 令和6年度の敬老会の在り方をどのように考えているのか。

答 予算措置については、補助金額を参加者1人あたりの経費を単位として、参加者数に応じて積算することとしている。今後の動向については、今後も、市民の皆様や、町内会などからいただいた意見や要望を真摯に受け止め、高齢者の皆様をしっかりとお祝いできる敬老事業としていく。

堀井新太郎（高志会）

防災・減災の対策を

問 国道7号の迂回路になり得る市道の維持管理は。

答 緊急時に円滑な交通の確保が図られるよう、適切な維持管理に努める。また、道路沿いの枯れた松や倒木については、現地の状況を踏まえながら、JR東日本などの土地所有者と協議し、交通に支障となる木の伐採を進めていく。

市道にかかる松枯れの様子

これからの市民参加型スポーツは

問 チャレンジデー終了後の取組みは。

答 本市が力を入れてきたインターバル速歩などの健康増進プログラムを充実させ、市民が主役の「するスポーツ」を引き続き推進していく。

児童・生徒の健康管理は

問 IT社会における裸眼視力の確保は。

答 文部科学省では、視力低下の原因をスマートフォンやデジタル端末の利用時間増加によると分析している。学校現場では、従来の教科書やノートを使用した学習とのバランスを取り、書くことによる学習内容の定着や、視力低下にも留意して端末を使用させている。

今後も児童生徒の視力の推移を注視し、必要な対策を検討していく。

問 学校給食の安定供給は。

答 業者を決める入札には学校給食の実績や、履行保証人を確保できることなどをあげている。食材の購入については市が直接行うため、業者への価格変動による影響はない。月1回の定例会で協議し安定供給を図る。

小川幾代（立憲民主党）

医療的ケア児の受け入れ環境の構築を

問 受け入れ先の保育園がない、課題は何か。

答 看護師の人材確保が最大の課題である。保育所や訪問看護事業所との意見交換などを行い、必要とする看護師の配置や派遣が可能となる仕組みづくりを検討し、保育所などの医療的ケア児の受け入れ体制が構築できるよう努める。

放課後等デイサービス利用料の軽減を

問 障がい児を対象とする放課後等デイサービスは課税状況により上限3万7200円。一方、放課後児童クラブは利用料の上限が5千円。不公平感を抱くのでは。

答 他の障がい児福祉サービスにおいても同様の仕組みで自己負担額が設定されている。公平性の観点から、独自の軽減措置については慎重な判断が必要であると考える。

不妊治療費助成の要件見直しを

問 1年以上の本市居住要件の根拠は。

答 他市町村との助成の重複の回避などを目的としている。安心して不妊治療を受けられるよう要件の見直しを検討する。

パートナーシップ・ファミリーシップ制度の創設を

問 県だけでなく、本市独自の制度創設を求める声がある。制度が必要では。

答 行政サービス面でのメリットが限定的であることや市外への転居後の対応など、課題があるため広域的に導入することが望ましいと考える。

制度導入の有無に関わらず、性的少数者の方々に配慮した多様性に理解ある社会の実現を目指す。

佐々木隆一
（日本共産党）

厳冬期の地震対策の備えは

問 能登半島地震は、真冬の寒冷地で大地震が発生するという、懸念されていた事が現実になった。

冬の地震対策は山間部の豪雪地帯を有する本市にとっても大きな課題でもある。

厳冬積雪期の地震対策は万全か。市の対策の現状と今後について答弁を求める。

答 この度の地震については、数千年に1度と言われる土地の隆起など、大きな衝撃であると受け止めている。

本市では毎年各地域において「総合防災訓練」を行ない、関係機関との連携や自主防災組織の災害の行動などを確認している。

今後とも防災対策は女性の視点も取り入れ男女の違いにも配慮しながら対策に万全を期していく。

県心身障害者コロニーの移転改築は市内を優先すべき

問 コロニーの建設は1969年、県が当時の西目村に決定。村では100ヘクタールの土地を寄付し76年竣工式を行なっている。

利用者・職員合わせて800人で西目地域や市内などの地域社会に大きく貢献してきた。

同施設が移転改築されることになったが、その際は西目地域など市内を優先して建設されることを関係機関に強く要請すべきである。

答 コロニーの移転先については、西目地域を中心とした由利本荘市内に設置をしてもらえるよう、知事あてに要望書を提出した。

引き続き県の状況を注視しつつ、さまざまな県との意見交換の機会を捉え一層の働きかけに努める。

秋田県心身障害者コロニー

吉田朋子
（高志会）

市の防災対策

問 冬季の災害備蓄品、女性や乳幼児向けの備蓄品は。

答 冬季の防寒用品は、想定を超えるような避難者にも対応できるよう再確認している。

女性用下着、防犯ブザー、ホイッスル、妊産婦用の衣類、乳幼児用の離乳食などは、今後の研究テーマとして、受け止め考えていく。

問 多様性に配慮したトイレとは。

答 市の公共施設で性別を問わず誰でも利用できる多機能トイレ施設は約150カ所あり、国土交通省のバリアフリー設計指針に基づき、ピクトグラムなどの表示を行っている。

多様な利用者が訪れる鶴舞会館では、令和元年度の大規模改修に合わせて、多機能トイレに虹色の人型ピクトグラムやレインボーマークを導入し「みんなのトイレ」として誰でも利用できるようになっている。

多機能トイレの表示は、今後、国や県、他自治体での動向を踏まえ、多様性に配慮した公共トイレの在り方を併せて調査・研究していく。

多機能トイレのピクトグラム

学校現場での性教育について

問 全国性教育研究大会に市の教職員は参加したことがあるのか。

答 参加実績はないが、県内で行われている同様の研修会には参加している。

市内全小・中学校が年度当初に年間計画を作成し、性に関する教育を、どの学習内容と関連させて行うかを明確にしながら、児童生徒に実施する性教育講座や教室も実施している。

議会を見よう！知ろう！

▶次の定例会は6/3～6/19◀

本会議でどんなことがどのように話し合われているのか、様々な手段で知ることができます。皆さんの暮らしに直結していることばかりです。
ぜひご覧ください。

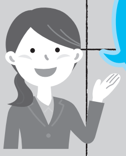
- ★議会を傍聴！ ライブで！
- ★会議録で読む
- ★ケーブルテレビで生中継
- ★由利本荘市議会YouTubeチャンネルでライブ配信

由利本荘市議会YouTubeチャンネルはこちら→

市議会カレンダー

● 6月定例会の予定 ●

日	月	火	水	木	金	土
5/19	20			23	㉔	25
				30	31	6/1
2	③ 本会議（開会）	4	5	⑥ 本会議（一般質問）	⑦ 本会議（一般質問）	8
9	⑩ 本会議（一般質問）	⑪ 常任委員会	⑫ 常任委員会	⑬ 常任委員会	14	15
16	17	18	⑲ 本会議（閉会）	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29



5月24日（金）
正午までに受理する
請願・陳情を審議
する予定です

議会の予定は変更になる場合があります。
詳細は議会事務局までお問い合わせください。（TEL24－6386）

議会日誌

（1/1～3/31）

1月

- 5日 議会報編集特別委員会
- 12日 議会報編集特別委員会
- 19日 議会運営委員会
- 26日 臨時会
  - 議会全員協議会
- 31日 山形県金山町議会行政視察来訪

2月

- 1日 大仙市議会行政視察来訪
- 5日 産業建設常任委員会協議会
- 9日 議会運営委員会
- 16日 本会議（開会）
  - 議会全員協議会
  - 会派代表者会議

3月

- 6日 本会議（会派代表質問）
  - 「市民と語る会」実行委員会
- 7日 本会議（一般質問）～8日
- 8日 議会運営委員会
  - 議会全員協議会
  - 会派代表者会議
- 11日 委員会（議案審査）～13日
- 19日 議会運営委員会
  - 本会議（閉会）
  - 「市民と語る会」全体会
- 27日 議会報編集特別委員会
- 29日 「市民と語る会」提言書及び報告書を市長へ提出

（2月16日～3月19日：3月定例会）

議長公務（主なもの）

1月

- 4日 新春商工パーティー
- 7日 二十歳を祝う会
- 8日 消防出初式
- 20日 ふるさと応援大使情報交換会（東京都）
- 28日 矢島カップGSLスキー大会開会式
- 29日 由利本荘青年会議所新年祝賀会

【議長公務】
詳細はこちらから↑

2月

- 1日 全国高速自動車道市議会協議会定期総会（東京都）
- 2日 優良技能者表彰式
- 5日 秋田県市議会議長会定例会（秋田市）
- 9日 スポーツ賞表彰式
- 24日 周防彦宗氏瑞宝双光章受章記念祝賀会

3月

- 3日 由利本荘市民スキー大会
- 16日 矢島体育協会創立70周年・矢島スポーツ賞記念式典
- 23日 鮎の風実行委員会感謝と慰労の会

議長交際費

	1月	2月	3月
慶祝、協賛など	49,850円（8件）	28,500円（5件）	11,000円（3件）
弔　事	31,000円（1件）	40,000円（2件）	0円（0件）

【議長交際費】
詳細はこちらから↑

議会だよりをちいき本棚で！

由利本荘市議会だよりを「SideBooks」の
ちいき本棚でご覧いただけるようになりました。
https://cccc.backshelf.jp/

矢島中学校 3年
三船（みふね） 杏慈（あんじ）さん
（町内名　家中）

愛（アイ） LOVE（ラブ） ゆりほんじょう vol.34

東由利小学校 6年
大沼（おおぬま） 龍平（りゅうへい）さん
（町内名　蔵）

活気あるまちに！

私は、将来由利本荘市が活気あるまちになってほしいです。

現在、少子高齢化の影響によって、働き手や働く場所が減ったり、楽しく遊ぶことのできる場所が減ったりと様々なことに悩まされている由利本荘市ですが、私は、自然豊かなことや特産品や歴史ある建物がいくつもあること、地域の人が温かく接してくれることなど、由利本荘市にはたくさんの魅力があると思います。そして、これらの魅力が市内・市外にもっと伝われば、どんどん人が集まり活気あるまちになっていくのではないでしょうか。

私は、この地域の良さをもっとよく知り、周りの人にも広めて、由利本荘市が活気あるまちになる手助けをしていきたいです。

未来の東由利

東由利は自然がとても豊かで、八塩山やボツメキ湧水などの観光スポットがあります。ぼくたちも出かけた「山遊庭の森」では、枝打ち体験や栗拾いをして自然に親しむことができます。また、東由利にしかないグルメもあるので、ぜひ訪れて食べてほしいです。

そのために、ぼくは、東由利の良いところをインターネットで宣伝したり、プレゼンをしたりして広められたらいいと思います。そうすることで、東由利を訪れる人や人口が増えることにつながるのではないかと思います。

東由利の良さが、もっと他の地域の方にも広まり、住んでいることを今よりもほこれるように、自分ができることを探していきたいです。

まちの声から

本荘地域
佐々木亜里（ささきあさと）さん（町内名 大鍬町）

プロモーション会議に参加して

私は、趣味でよさこいの活動をしています。怪我を機にMCや歌を担当するようになり、それをきっかけに市内イベントの司会等も行ってきました。

コロナが流行し、イベントも激減、何も出来ない我慢の日々が続きました。そんなとき、一通の封筒が届き、中に由利本荘プロモーション会議へのお誘いが入っていました。

不安もありましたが、司会等の声の特技を活かして、地元のために何かできるなら！と思い参加することにしました。

そこでは、たくさんの出会いや再会があり、仲間ができました。そして、何よりもプロモへの参加で自分に自信を持つことができるようになったことが一番の収穫でした。

これからも大好きな由利本荘市でイベント等の司会が出来たらいいなと思っています。

編集後記

空澄み渡り風薫る季節となりました。

5月5日は子どもの日。「子どもの人格を重んじ、子どもの幸福を図るとともに母に感謝する日」として、1948年に国民の祝日に制定されました。県内一の広大な面積を誇る本市には、豊かな自然をはじめ、歴史、文化、食の宝庫として多くの魅力があります。GWには、お子様と、ご家族と…行ったことのない由利本荘に出掛けてみてはいかがでしょうか。新たな魅力を発見してみませんか。

（甫仮貴子）

議会報編集特別委員会
委員長　佐藤正人
副委員長　甫仮貴子
委員　小川幾代
佐々木隆一
大友孝徳
佐藤義之
泉谷赳馬
三浦晃
（議席順）